

キーワード

3 思考力・判断力・表現力等の育成

標 題

言語活動の充実による活用力（思考力・判断力・表現力）を伸ばす授業づくり

①学校の概要（平成25年7月1日現在）

・児童生徒数 263名 ・学級数 12学級 ・教職員数 26名

②取組を始めた経緯

全国学力・学習状況調査などのアセスメントテストの検証から、活用型問題により大きな課題があったので、活用力（思考力・判断力・表現力）を伸ばす取組を始めました。

③取組の実施体制

校内研修の研究テーマに位置づけて推進。
『管理職・全体研修会で方針決定』
《研究組織》

- ①研究推進委員会（研究方針素案検討）
- ②研究班【学力向上班】【生活習慣作り班】
- ③学年部【低学年】【中学年】【高学年】【特別支援学級部】

④学力向上に向けた具体的な取組

研究班ごとに計画した内容が具体的な取組となっています。

【学力向上班】《校内研究を中心とした学力向上の取組》

1 学習内容の定着を図るための習得の取組

- (1) 学習ハンドブックの作成【低学年から高学年まで一貫した学習規律】
- (2) 言語活動の充実【書く・読む・話す・聞く・話し合いの技能の向上】
- (3) 語彙を増やす活動【辞書の活用・読書活動】
- (4) 伝統的な文化に触れる取組【ことわざ・四字熟語・俳句、川柳、短歌・カルタ・百人一首】

2 活用力の向上を図る取組

- (1) 活用力の向上を図るための授業改善【「話し合い」や「説明」の表現活用】
※「話し合い」や「説明」することが、児童の活用力向上につながると考え、指導過程に「話し合い」や「説明」の表現活動を取り入れました。
- (2) 教科領域を限定せず、指導過程を統一した授業展開【指導過程を「つかむ」⇒「向き合う」⇒「探究する」⇒「振り返る」とし、「話し合い」や「説明」を取り入れた1単位時間の進め方を統一】

【生活習慣作り班】《家庭や地域と連携した授業外学習支援活用の取組》

1 家庭と連携した体と心の健やかな成長（望ましい生活習慣チェック）

- (1) あいさつ（挨拶や返事をしっかりする取組）
- (2) ノーメディア（テレビ・ゲーム・パソコンなどのメディアを遠ざける取組）
- (3) 家庭学習（時間の設定や自主学習促進の取組）

2 地域と連携した授業外学習支援《地域の指導者による補充学習》

- (1) 放課後児童クラブの指導員による家庭学習（自主学習）支援

